

〔奨励賞 社会文化部門〕

- くにもり・まいか
1. 氏名 國盛 麻衣佳 氏
 2. 年齢 39歳
 3. 肩書 美術家
 4. 住所 東京都（福岡県大牟田市出身）

※年齢は2025年11月3日時点



【受賞理由】

石炭から開発したオリジナルの顔料「コールペイント」や炭鉱住宅の部材を用いた絵画の創作、故郷の福岡県大牟田市でのコールペイントを使った市民参加型ワークショップ開催など、炭鉱をテーマにした美術表現に取り組んできた。合わせて国内の主要産炭地の文化史を研究し、「負の遺産」として捉えられがちな旧産炭地のイメージを多角的に捉え直している。

産炭地の文化史研究では、炭鉱労働者らによる美術、文学サークルなどの文化活動や、衰退した地域の再生を図る「アートプロジェクト」の実践について全国的に調査。石炭産業の繁栄と衰退に伴って著しく変化した炭鉱の状況が、炭鉱を拠点とした美術家の作品や活動に反映されたことを読み解くとともに、地域の記憶を掘り起こし、保存、共有する手法として美術表現が有効である可能性を示した。

【主な経歴】

2008年 女子美術大学 美術学科洋画専攻卒業
2010年 東京藝術大学 大学院美術研究科壁画専攻修士課程修了
2012年 第36回九州青年美術公募展河北記念賞
2013年 第37回九州青年美術公募展審査員特別賞
2017年 九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士後期課程修了 博士（芸術工学）
2019年 スターツ出版「47都道府県のクリエイターが表現するMY HOME TOWN～日本のローカルスタンダード～展」入賞
2021年 単著「炭鉱と美術－旧産炭地における美術活動の変遷」（九州大学出版会）で第15回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞

近年の主な展覧会・展示等として、「筑後アート往来2017→2018『藝術生活宣言-だって楽しいんだもん！』」（2018年、九州芸文館・筑後市）、「直方市石炭記念館開館50周年記念『黒ダイヤにまつわること』」（2021年、直方谷尾美術館・直方市）、「國盛麻衣佳・Oelectronica『記憶への手つき Handshake with Memory』」（2023年、京都芸術センター・京都市）、「ONE有明アートフェスティバル2024『HAGAKURE - 自由と情熱』」（2024年、佐賀大学美術館・佐賀市）、「コールマイン未来構想 記憶を紡ぐ－炭坑文化の未来を考える」（2024年、田川市美術館・田川市）、「博多阪急ART CUBE『炭鉱夫とアフター炭鉱夫』」（2025年、博多阪急・福岡市）